



旬刊 労働者旬刊 毎月二回一日一五五発行 定例一冊五十銭 一年五十四冊 廣告一冊一四五十銭 場所指定一四冊 編集者 木村安次 印刷者 木村安次

愈々頭角を研だ 日本労働組合の運動

裏道通るな表道進め

我が日本労働組合も近頃本君は偉大な期會を與へられ、腰的運動に入り國鐵聯合組又偉大な責任を負て居る、合の如きは稍々闘争準備に始めて労働運動に参加した入る、縣政職員組合の如き多數の日本労働者は民主主義は待改善の旗印を擧げ然義方法で黨派的政治行為で、かも縣廳に押かけ就中相馬絶縁し組織労働者が自由を、郡小高町職員一同は若し保持すべきだと注告も織込、縣が此要容れられない時はまた然る可き米國労働組は全職員總辭職するまでの申、合せ具体的準備として各職、員より辭表を一應取りまど、めた、小高町外近郷村教員も同一歩調を取る模様だが、是れ等教員の労働運動こそ、日本労働運動力の標本とな、る、今度米國に二代労働會、長より日本労働組に對し激、動的メッセージを發表是等、激動メッセージに依れば日、本労働者諸君は永い星霜勞、働組の組織無き爲め資本家、の下積となりて來た今日諸、

米産地 隣縣山形 地方の状況 山形縣は米産地と云、云いながら山間地帯、であるが耕地最も廣、く四方の山々迄で近、出米三割割買米七割と云、農家は着物の山と云ふ地、方、都會より見た、

磐城地方の 平和産業 磐城地方の産業工場は終、

米産地 隣縣山形 地方の状況 山形縣は米産地と云、云いながら山間地帯、であるが耕地最も廣、く四方の山々迄で近、出米三割割買米七割と云、農家は着物の山と云ふ地、方、都會より見た、

出たぞ法律 百三十一號

今後百三十一號法規をマッセルられた百三十一號法律は、カサー司令部より發した、如何なる家庭に事情が有り、此の司令は日本民族の生活でも一歩も減する事の得な、安定を前途に開くべきマッセル法律で罪に罹たら最後必、カサー司令部の有難き親心十年以下の罰金を納めなけれ、外ならず事茲に到ては日圓以下の罰金を納めなけれ、本國民を擧げて百三十一號ならぬ、七萬五千圓の金、法律を確守すべきである、を納めて十年の体刑を勤め、在來の日本の法律は例ひばれば普通の財産は全滅とな、關行爲發覺した場合取調べる、依て恐る可き法律であ、の決果被告人の家庭の事情から一人でも罪を犯かさ、とか其他の事情に依つて三、四、五、六、七、八、九、十、注意、年の有罪を二年に減するがし、此の百三十一號法律、マッセル司令部より發表を以て主願とする法律であ、

戰當時何れも休業状態にて産業に製作に乗り出した模、二の足を踏み居りしも近頃様だが之で磐城地方は眞の、完全平和産業に切り替何れ平和に時代が變りたる事明、の工場も歩調を揃ひ盛んにらかである、 依て第一關賣買は直ちに、止めてきてある茲に開成立、と不成立の型を示せば左の、如し、一般商品と價格表示、の無い物は違反となる、生、産町村内で自家用野菜果實、の賣買は其時の必要に依り、何貫の賣買も許すか、之を、他に賣ると違反となる他町、村よりの賣出しは二貫目制、限があり其他は違反となる、親兄弟親族より無償で與へ、る時は其量に制限無いが其、内少量でも他に買れば違反、となる、一人二貫目買入制、限を使用し一家より何人も、買出すと違反となり然かも、重き罪となる、魚屋は、魚を賣る補助として計りを、ごまかせば詐欺罪と度量法、違反品の二重罪となる、米、國輸入品所謂親心を以て、マッセル司令部より送られたる食、糧品の總てを近く各家庭に、配給になり、之を隣り、同志は勿論親子と雖も買、買交換無償にて與へても違、反となる是に準じ一般關取、引は恐る可き百三十一號法、律に權る外料理屋飲食物は、一皿五圓と制限是れを三皿、集めて一皿に盛り十五圓と、一皿十五圓にて賣た事にな、り違反となる吞物は一杯三、圓と限られ客一人の賣高計、金の場合は違反となる

食糧營團の

平市第五配給所が 米麥混合獨裁配給

平市第七丁目設置する平寄り市民の聲が高い、食糧第五配給所は去る八月團本部は之に如何なる處置も米と丸麥混入して當受配り向八月七日一般市民に配者に配給し受配者は直ちに給したパンの如きは一夜に

平戰災振興の親

戰災者住宅相談に應ず

一般受配者は困り貫ひたど 平市田町五十番地に所在する營に西進東歩して居るが一般受配者依て此の事を食糧營の平土地住宅有限會社は資本金七十萬圓を以て昭和十物資不足の今日然かも縣や營本部へ尋ね調べたところ六年設立し在るが此の程日市に魁け平市大振興の先驅せよと七丁目の配給所へ命大學卒の元警城銀行出納係者となり營業の大發展と市民は勝手に丸生麥と米を混となり終戦に伴ふ住宅難と他の會社の及ばざるものとの信するものなり

増炭獎勵金

で解決

常盤炭礦ろう働聯合會では既報の如く去る六日會社側と運協協議會を開き稼働賃金の引上などの要求について協議した結果十月までの條件で能率適用主義により

佛具品
佛壇
御位碑
佛金物類
造花調製

常盤線平市本町四丁目

山光堂商店
電話五五〇番

良品廉賣に優る商略なし

釜屋商店
平市五丁目 電話九番九九番

平市七丁目(發電所入口角)
皆様の食堂

ふくべ食堂
小料理 水 齋 藤 角 治

茨城縣久慈濱町

丸唐興行部

石城郡錦町

興行師 **鈴木三次**

社會黨

大井川幸隆

平市二丁目

方圓堂印房
都 甲 正 三

浪江町

佐藤永春
電話七三番

御知らせ

勤勞タイムス社
本社 平市大町八番地
此度本社都合に依り左肥場所へ營業部を移す事になりました、何卒御便用下さい
平市田町五十一番地
日本産業社内
電話六六一番

御料

神谷原料會社
神谷原料會社のろう組は兼ねてろう組々織の運動中だつたが此程一應解散となり今後の模様重視する

旅館 未廣

平市田町
電話四二二番

花村

御料理
合
平市田町 電話四番

八・一統制令に

消費者の悩多し 自由買より高い野菜類

八・一統制令に青空市場は一日ならぬに角一回配給にな
軒もなく扇り去られてしつたら後は忘れた頃しか
た、果物や新鮮なる野菜もらず幾分安いとしても生
何時の間にか姿を消してしつたものを買ふだけ消費
まつた、扱て其の後の各家庭は、茲數日後に
庭の臺所にどう響いたか、は又各家庭の主婦達も耐へ
配給制度の再生に當つて兼ねて買出部隊の再出現と
先づ一番早く感じられるの云ふ事にならう、隣組一括
が野菜の配給であらう、今購入して一人一人に分け合
迄は自由に新鮮なる野菜がふ手敷と時間消費の莫大な
何處でも買へて主食不足の事は云ふ迄もなく、其れ
折柄せめて野菜も満足よりか買出に出掛た方が好
する程食べ様と、野菜に依るの品が手に入るし第一生
つて栄養を補つて居つたののよい處に特點があり、又
が今度の八・一統制令にて配給上にも好結果を來す
給一本立となつた、配給はあたらう昨年終戦當時の買
成る程各家庭洩れなく行き出部隊全盛時代の再出現を
渡ると云ふ美点が建前であらうと見ると豫想される
るが、然し其の反面に又斯
様な欠点もある、殊に一日
を競ふ夏野菜などは先づ茄
子、胡瓜の如きはまるで綿
の様になつて色も艶も失せ
て半分腐つた様なもので
混せて茄子四ヶ胡瓜一本此
れで二圓五六十錢と云ふ値
段、決して安いものではな
い、其れに二日に一度か毎
三日を以て濱通一齊に統一

宇蘭盆會

は八月に
終戦後初めての
濱通り統一執行
の様に濱通り地方は戦時中
で半分腐つた様なもので
混せて茄子四ヶ胡瓜一本此
れで二圓五六十錢と云ふ値
段、決して安いものではな
い、其れに二日に一度か毎
三日を以て濱通一齊に統一

的盆會を執行する事に決定
し、それ／＼各市町村常會
を通じて通達した、依て盆
様の日割は八月十三四は市
外町村にて執行、平市は十
五十六の二夜執行するが演
藝に好意を持つ進駐軍就中
マツカサ元師の下に日本
の眞の民主平和の現れを視
たいものと期待して居る

親心

さむき夜に乳児添ひ寝の
母すがた
肌を晒して乳房を子に當
て

飛行機を孫に見せよとお
ばうさん
孫と背ならび指をさす
日も永き野らで働き夏の
夜も
眠る愛児の背をなでて
寝ずのみにとる母心
寒き夜に布圍さしのべ子
にかけて
我が身を晒す親心
寒き日に子の手を口へ引
きよせて
生きてあたる親心
だいた子の眠るむじや氣
の顔を見て
耳鼻はじる親心

旅館 富士美

盛夏の候皆々様には益々御隆昌の段賀上ます
扱て此の度左記の場所に旅館「富士美」を開
店致し海濱地方御旅行者の便宜を計る事に相
成りました何卒御利用の程を
平市新川町
電話(呼)二七七番

復興お知せ

各位益々御隆昌の段奉賀候陳者私共罹災中一方な
らぬ御同情を賜り御蔭様を以て従來の場所に復興
致しました厚く御禮申上候
尚今後共不相變御引立の程偏に御願ひ申上候
右不取敢以紙上御禮旁々御挨拶迄斯の如に御座候
平市大町五
永山クリーニング舗
舗主 永山眞彦

相馬郡石神村
太田秋之助

湯本町
渡邊長作

植田町 電話十六番
古川傳一

精華農場
川和徳一
平市南町五八

平市鍛冶町
風戸興行部

植田町
大津辰雄

植田町
成瀬友藏

植田町
秋山市藏

植田町
坂本亀太郎

平市 電話三〇番
常陽銀行平支店

平市 電話二三二番
七十七銀行平支店

平和會社の鏡

労働組合の標本

福島縣石城郡内郷町綴前根岸小澤半次郎氏は今般の在る株式會社綴燃料礦業平市宇田町の火事のも災者會社は社長前野礦氏營業部一戸に對し六丈づつ、寄附長俣田幸次郎氏其他の重役した、全く物資高價の折柄を以て經營し目下百名以上、白戸以上の災者に六疊づつ職工を使用し居り先にボウの寄附は如何なる財産家のイラ用燃料を主として製造でも真に災者のつらさをしたが世の平和に伴ひ家庭知らざる者は出来まい

盗ぞくに注意

近頃何れの地も盜賊の大流行だが内郷町大字綴長谷部果物類や野菜が一齊に青空荷中何者かに盜られ捜査のしつやみか減滅した譯では今年度の冬季より地方家庭にも賣出す事の事、若し此木炭代用燃料を地方へ出廻る時は燃料不足の解消で福だ、又此會社の從業者職工共も正に家族主義でろう働組合は會社在ての組合であるから第一會社を基準としてろう働組合は其下に出來る可きだ最も平和的組合で此組合こそ他の標本と成るとの噂だ

巷の聲

氏宅では明朝煮る飯米炊に入れ置きたる米炊共も盜れために矢張り新米の方法其朝二時頃職員が國道通りたる時アンマが柴に米入れやみへど當局の目の届かぬて持ち居るのを見付取調た處で取引が行はれる、結局の如き者にて合鍵七組とハ一丁合口と持參せる事出來たが今度は人目にくぬ少量しか運べぬし経費は同じくかゝるから今迄白米一升五十圓で賣れたのも七十圓に賣らなくては割に合はぬ結果になり需要家は益々苦しくなりやみ値は高まる云ふのも満更の事ではあるまい

猪狩庄平

平木工産業有限會社
社長 猪狩庄平
専務 柴田徳二
平市佃町 電話七七四番

文藝

あらをかし
見た聞いたが此度の配給米の代りにパンとイモあらをかし
今の東京はお江戸になつた見渡す限り焼野原あらをかし
敵襲有る頃青色で

文藝

今は其色赤となる
自動車ボンブも保護色かあらをかし
政治政治と尊敬したが何んにも政治で尊敬できぬ
あらをかし
法規で我が錢封鎖され家族制度で許されるあらをかし

文藝

見ても聞ても譯らぬものは
平和日本の晴れ姿あらをかし
勝てるぞと買出し部隊
どんなやみでも勝てる
あらをかし
翼賛も一本立で賣出して遂ひに日本もまけたのかあらをかし

事務用品
紙製品文具
尾張屋商店
平市五丁目十九



當會社第拾壹回株主總會にて左記の通り重役變更前事務取締役松井政吉辭任保母保就任

| | |
|-------|-------|
| 取締役社長 | 長原芳郎 |
| 取締役 | 保母保 |
| 取締役 | 木村勝三郎 |
| 取締役 | 池田幸之助 |
| 取締役 | 村田欣吾 |
| 取締役 | 大間健太郎 |
| 取締役 | 大津正夫 |
| 監査役 | 櫻井治平 |

鑛業所勤務として異動前所長松井政吉辭任村田欣吾氏就任今後共倍舊の御援助御願致します

株式會社 丸ほん商店
平市三丁目 電話一八二番

關内藥局
平市四丁目 電話四〇番

大和田印刷所
平市仲町二三 電話七二九番

小澤氏は
寄附の神様
福島縣石城郡上遠野村大字